

斐伊川・神戸川流域環境マップづくり 2025年報告書

学校名・施設名等 出雲西高等学校インターアクトクラブ

担当者名 顧問 新田 篤生

対象河川名 神戸川 実施時期 夏・秋

*夏の調査期間は7月11日から8月31日までとしています。

取り組み状況（河川環境の状況、学習での取り組み、指導者・ボランティア等について）

〔参加学年等〕 高校1・2年生 〔参加者数〕 夏調査 11人・秋調査 10人

【夏の調査】 2025.7.19（土） 〈天気〉曇 〈気温〉32.0℃ 〈水温〉28.0℃

〈一番多かった指標生物〉ヒラタカゲロウ類6 〈水のきれい度〉きれいな水
〈その他の生物〉カワゲラ類4・コオニヤンマ4、ナミウズムシ2、ヘビトンボ1、
タニガワカゲロウ42、カワムツ22、ヌマエビ11、ヒゲナガカワトビケラ10、コカゲロウ・キイロカワカゲロウ・サナエトンボ5、チラカゲロウ4、ニンギョウトビケラ3、ギギ2、ヨシノボリ・モクズガニ・トビケラ類1



〈水辺の様子〉雨が降って数日後の調査だったため、普段よりも水かさが増して、少し濁っているように感じた。また、水の流れも少し速く感じた。

(COD パックテスト 5mg/L、pH7、透視度調査 測定値 100cm 以上)

【秋の調査】 2025.9.13（土） 〈天気〉曇 〈気温〉27.1℃ 〈水温〉25.0℃

〈一番多かった指標生物〉カワニナ類11 〈水のきれい度〉きれいな水
〈その他の生物〉カワゲラ類10、ヤマトビケラ類1・ヒラタドROMシ類1、タニガワカゲロウ22、コカゲロウ7、サナエトンボ5、ナミヒラタカゲロウ3、マジジミ2、キイロカワカゲロウ・カワムツ・コヤマトンボ・アメンボ・ヨシノボリ1



〈水辺の様子〉7月の調査と同様に、雨が降った後の調査だったため、普段よりも水かさが増して、少し濁っているように感じた。

(COD パックテスト 4mg/L、pH7、透視度調査 測定値 100cm 以上)

子どもや教師・地域等の感想（子どもの反応や反省点、要望等）

夏 ○今回の調査からきれいな水であることが分かったが、人が軽い気持ちで捨てた飲み物等のゴミが積み重なれば川は汚染されてしまうと思った。これからは周囲の人への声掛けや環境問題についての理解を自主的に深めることで、きれいな神戸川を維持するために役立ちたいと思った。

○調査をする前はやや汚い水だと思っていたけれど、透視度調査や COD パックテスト、水生生物調査をしてみると、きれいな水だということが分かり安心した。次回の調査も参加したい。

秋 ○透視度調査や COD パックテストは、大雨等があることによって調査結果が大きく変わることがあるが、水生生物調査は、そこに住む生物は環境が保たれていれば変化することは少ないため、より正確な結果が得られることが分かった。

○石の下を見ると、網ではすくえなかったとても細かい水生生物を見ることができた。調査をすることで、川の状況を直接感じることもできたのでとても良かった。